

Faders & XY Padマニュアル

- 市販の音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- このソフトウェアおよびマニュアルの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- このファイルに掲載されている画面は、すべて操作説明のためのもので、実際の画面と異なる場合があります。
- 「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- その他、このファイルに掲載されている会社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

© 2011 Yamaha Corporation. All rights reserved.

Faders & XY Padの構成

Faders & XY Padは、iPadでミキサーのようにフェーダーを操作することにより、MIDI機器をコントロールすることができます。

Faders & XY Pad

Utility画面

- Faders画面のデザインを設定
- Faderの動き方を設定
- 外部機器との接続方法を設定

Faders画面

- Fader操作をする
- テンプレートを切り替える

XY Pad画面

Padをなぞって複数のFaderを連動させることができる

パラメーター設定画面

FaderにMIDIコントロールチェンジをアサインする

MIDIケーブルとヤマハi-MX1を使って、iPadと楽器を接続します。MOTIF XFはワイヤレスMIDIで接続できます。詳細はMOTIF XF Version 1.20 新機能マニュアルをお読みください。

NOTE
機器のMIDI設定については、ご使用のMIDI機器に付属の取扱説明書をご参照ください。

Faders & XY Padマニュアル

1

タイトルバーとUtility画面

ここでは、全体に共通した設定を行います。

タイトルバー

Utility画面

Faders画面

MIDIによる入力があるとINのLEDアイコンが点滅します。
MIDI出力時はOUTのLEDアイコンが点滅します。

タップするとUtility画面が開きます。
画面が開いた状態でタップすると閉じます。

画面デザインを一括で変更するか、Panel、Bottom、Fader、Scaleごとに独立で変更するか選択します。「ON」にすると独立で変更します。

「Individual Select」が「ON」の場合、デザインをPanel、Bottom、Fader、Scaleごとにプリセットデザインを選べます。
「OFF」の場合は、Panelのプリセットデザインのみ選べます。

Faderの動作を選択します。
jump: Faderのどの位置をタップしてもFaderノブが追従します。
catch: Faderノブをタップしてスライドした場合にのみFaderノブが追従します。

「ON」にすると、テンプレート*を切り替えたときに、切り替えたテンプレートのFader位置に対応したコントロールチェンジをMIDI出力します。

MIDI機器との接続方法を設定します。
cable: i-MX1 で接続する場合に選択します。
wireless: ワイヤレスMIDI 接続の場合に選択します。
NOTE ワイヤレスの場合、お使いのiPadで、設定>Wi-FiにてWi-Fiネットワークの設定をしてください。

ワイヤレス接続した MIDI機器 のMIDIポートをここから選択します。

タップするとマニュアルを開きます。

*テンプレートとは

本アプリは、Faders画面の8本のFaderそれぞれにアサインされているパラメーターと、最後のFaderノブ位置を一括で記憶します。この記憶データをテンプレートと呼びます。テンプレートは複数記憶することができ、それぞれに名前をつけたり、呼びだしたり、初期化することができます。

Faders画面

Fader操作をする画面です。画面左上でテンプレートを選んでから、Faderを操作します。

テンプレート名

テンプレート名をタップするとテンプレートリストが開きます。両脇にある[-]、[+]をタップすると、テンプレートを変更できます。

タップすると、文字入力キーボードが表示され、テンプレート名が変更できます。
フリックすると、テンプレートを初期化することができます。



テンプレートリスト

リストのテンプレートをタップするとテンプレートを切り替えることができます。

タップするとXY Pad画面が開きます。

タップするとパラメーター設定画面が開きます。

Faderごとにアサインされているパラメーター名が表示されます。
Faderごとに3つまでパラメーターをアサインできます。

ドラッグまたはタップすると、Faderにアサインされているパラメーターの、Fader位置に対応した値がMIDIのコントロールチェンジとして出力されます。

パラメーター設定画面

各FaderにMIDIパラメーターをアサインする画面です。パラメーターの最大値、最小値を設定することもできます。パラメーターや最大/最小値は、外部MIDI機器から入力して設定することもできます。

パラメーター設定画面

パラメーターがアサインされていない状態にして画面を閉じます。

タップしてMIDI送信チャンネルを設定します。

タップすると[Learn]ボタンが点滅状態になります。この状態で外部からMIDIコントロールチェンジ信号を入力すると、コントロールチェンジナンバーとChをパラメーター設定します。

点滅状態は再度タップすると解除されます。

スライダーで、パラメーターの**最小出力値**を設定します。

[Learn]ボタンをタップすると点滅状態になります。この状態で外部からMIDIコントロールチェンジ信号を入力すると、入力値を**最小値**として設定します。

点滅状態は再度タップすると解除されます。



設定を初期化します。

設定を終了して画面を閉じます。

タップして**パラメーター / MIDIコントロールチェンジナンバー**を設定します。

タップしてパラメーター設定画面が開くと、色が変わります。

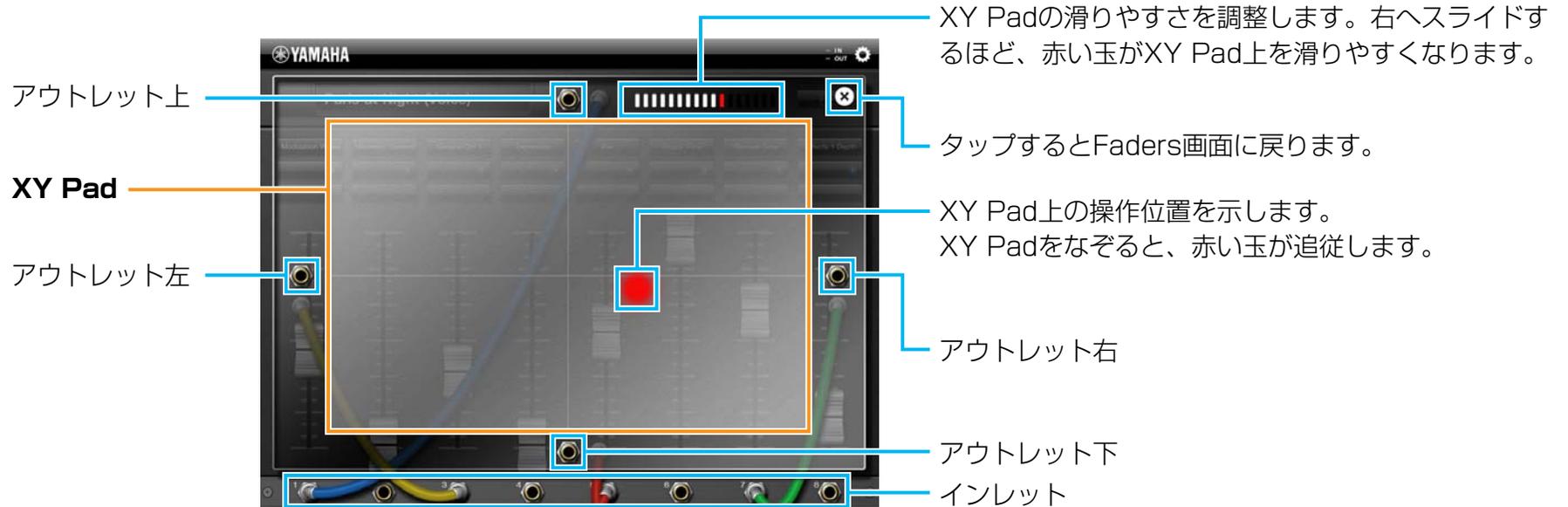
スライダーで、パラメーターの**最大出力値**を設定します。

[Learn]ボタンをタップすると点滅状態になります。この状態で外部からMIDIコントロールチェンジ信号を入力すると、入力値を**最大値**として設定します。

点滅状態は再度タップすると解除されます。

XY Pad画面

この画面では、表示されているXY Padをなぞるだけで、複数のFaderをまとめて動かすことができます。



XY Padの滑りやすさを調整します。右へスライドするほど、赤い玉がXY Pad上を滑りやすくなります。

タップするとFaders画面に戻ります。

XY Pad上の操作位置を示します。XY Padをなぞると、赤い玉が追従します。

設定

アウトレットをタッチすると、ケーブルが表示されます。そのまま、つなぎたいFaderのインレットまでドラッグして、ケーブルをつなぎます。アウトレットとインレットがケーブルでつながれたFaderは、XY Padを指でなぞると、連動して動くようになります。インレットをフリックすると、ケーブルは削除されます。各インレットにつなげるアウトレットは1つです。

Faderの動き方

Faderのインレットにつなぐアウトレット

		アウトレット上	アウトレット下	アウトレット右	アウトレット左
XY Padをなぞる方向	上へなぞる	上へ動く	下へ動く	—	—
	下へなぞる	下へ動く	上へ動く	—	—
	右へなぞる	—	—	上へ動く	下へ動く
	左へなぞる	—	—	下へ動く	上へ動く